

平成29年度和歌山県文化功労賞

たま い すみ お
玉井 濟夫

住 所 和歌山県田辺市
出身地 和歌山県田辺市
生年月日 昭和13年11月12日

◎ 業績及び経歴

昭和13年新宮市で生まれ、田辺市で育つ。昭和39年に東京教育大学理学部大学院修士課程修了後、高等学校の理科教諭を歴任し、平成10年に県立熊野高等学校校長を最後に退職する。34年間にわたり学校教育の充実・向上に尽力するかたわら、生物の調査・研究に取り組む。

専門は爬虫類・両生類で、紀伊半島に生息するサンショウウオの実態を解明するなど、当該分野の研究における県内第一人者である。

氏は調査・研究の過程において、価値ある自然環境を次世代へ継承することの重要性を痛感し、自然保護活動にも尽力する。天神崎の自然保全運動には、昭和49年に「天神崎の自然を大切にする会」が設立された当初から参加し、会の中心的存在として活動。天神崎の保全に奔走し、日本におけるナショナル・トラスト運動の先駆けとなって全国に新しい形での自然保護運動を根付かせた。

その活動は県内にとどまらず、全国組織である日本ナショナル・トラスト協会の専務理事としても活躍し、同協会が主催するシンポジウムや全国規模の大会などを通して、国内における自然保護思想の普及啓発にも尽力した。

また、貴重な自然の状況を把握し、保全の対象とすべきものを明らかにするために本県が発行している和歌山県レッドデータブックの作成にも加わり、長年にわたる調査・研究で得た成果を組み入れるとともに、その改定時においても爬虫類・両生類の部会長としての役割を果たした。

このような功績から、平成19年には自然公園関係功労者環境大臣表彰を、平成25年には田辺市文化賞を受賞している。長年にわたり、生物の調査・研究と自然環境の保全に尽力し、地域住民の自然に対する関心と自然探究への意欲を高めることに貢献してきた功績は誠に多大である。



■ 現 在

- ・公益財団法人天神崎の自然を大切にする会 理事(業務執行理事)
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員
- ・和歌山県自然公園指導員
- ・田辺市文化財審議会委員
- ・和歌山県自然保護調査会会長
- ・南紀生物同好会副会長

◆ 主な表彰歴等

- 昭和62年 和歌山県教育研究奨励賞
- 平成2年 水環境賞
- 平成12年 田辺市社会教育功労者表彰
- 平成17年 田辺市市政功労者表彰
- 平成19年 自然公園関係功労者環境大臣表彰
- 平成25年 田辺市文化賞